

情報連絡員からの報告（要旨）

《製造業》

食料品製造業

1. <青森県 乳製品製造業 >
猛暑、残暑の影響で搾乳量が2ヶ月連続で前年実績を下回った。高温によるストレスが更なる搾乳量減に繋がれば、需給バランスに影響を与える。
2. <宮城県 味噌醤油 >
前月は「GoToトラベルキャンペーン」により、わずかではあるが業務用関係が動き出した感があったが、8月は異常な暑さと新型コロナウイルスの感染拡大で消費の動きが非常に鈍った。
3. <秋田県 パン >
新型コロナウイルスの影響にて、コンビニの菓子パン等の売上が減少していることに加え、猛暑により、売上が急激に悪化している。学校給食は夏休みの短縮で登校日数が増えたため、プラスになっている。
4. <東京都 カレー粉製造業 >
消費者向けは需要が大きく伸びたが、人手不足で生産が追いつかない。一方で、業務用は例年の半分以下に減り縮小、非常に厳しい。中小企業は業務用比率が高く、この状況が続くと極めて厳しくなる。
5. <石川県 調味材料製造業 >
8月の売上は12%強の減少。石川県民割の効果で観光宿泊関連のサービス業にやや改善がみられた。価格訴求による売上増を図るのではなく、定番価格販売で収益改善を目指す方向へシフトしてきている。
6. <岐阜県 菓子 >
観光地においても、GoToトラベルキャンペーンによる景気回復も期待したほどの成果を感じられなかった。猛暑と野菜の高騰の影響で嗜好品であるお菓子の消費が大きく落ち込んだ。

繊維・同製品製造業

7. <山形県 織物製成人女子・少女服製造業 >
個人消費の落ち込みが売上減に繋がっている。大手アパレル店舗の閉鎖や人員削減、来春の展示会等も7割減の状態が多く、先行き不安が増していく一方である。
8. <栃木県 縫製業 >
秋物商品の受注は昨年の50%程度になり、生産スペースの半分は、防護服等で補っているが、10月末頃までの注文なので、その先が見通すことができない状況である。
9. <群馬県 外衣・シャツ製造業 >
アパレル関係の仕事は多少出てきたが、非常に悪い状態に変わりない。ただ、医療用ガウンは月によって数量が大きく増減するものの、来年の3月頃まで生産の見込みがあり、仕事の穴を埋められている。
10. <新潟県 製材業 >
8月は昨年同様の状況だった。10月にバタバタと現場が動き、昨年同様忙しくなりそうだ。職人不足の現場が多く、人手が足りない現場が出て来ており、将来が不安である。
11. <愛知県 綿織物 >
コロナ禍のため、店頭での衣料品販売が振るわず浴衣や祭に関連した法被・手拭い等の仕事依頼がほぼなくなった。一般の衣料品も例年以上に受注が少なく、厳しい状況が続いている。
12. <奈良県 繊維連合会 >
依然としてコロナ禍により百貨店や大手アパレル等が厳しい状況にあるため、売上の回復がなかなか見込めない状況が続いている。また、ピークを過ぎたのかマスクの生産は減少傾向にある。

木材・木製品製造業

13. <北海道 一般製材 >
製材市況は、カラマツ、エゾ・トドマツいずれも弱保合。原木市況は、カラマツは弱保合、エゾ・トドマツは保合。カラマツ原木、エゾ・トドマツ原木ともに先月から在庫を多く抱えている。
14. <栃木県 建具製造業 >
新型コロナウイルスによる景気停滞の影響は、多々であり、また今夏は猛暑と延期になったオリンピック対応にて休日が多いなど生産効率も悪く、厳しい営業成績となった。
15. <群馬県 製材業、木製品製造業 >
製品販売単価の下落が続いている状況であり、仕入等でコスト調整しているが、大変厳しい状況が続いている。
16. <京都府 製材業・木製品製造業 >
東京オリ・パラ競技大会特別措置法による祝日の変更で、長期休暇が経済活動全体に停滞感をもたらしたようである。特に、建築関係は酷暑による熱中症対策も重なり、新規着工を延期している現場もある。
17. <愛媛県 木材 >

地場の建築需要は大きな落ち込みもなく推移しているが、先行きの不安はぬぐえない。梅雨の豪雨災害により、全国的に原木の出荷は不足気味となり、需給が引き締まり、原木価格は強気傾向となってきた。

18. < 鹿児島県 木材・木製品製造業 >

コロナ禍、集中豪雨、さらには長引く酷暑などが影響し、消費意欲の大幅な減退に繋がっていると考えられる。感染予防策の早期確立と強力な経済復興策が望まれる。

紙・紙加工品製造業

19. < 茨城県 段ボール >

8月は前年同月と比較して売上が10~30%減少した組合員が多く、大手も5~9%売上減少。6・7月は回復傾向だったが、8月は悪化し、需要はなかなか戻ってこない。これから後半戦、体力勝負になってきている。

20. < 群馬県 紙製容器製造業 >

お盆休みををさんで休日が多かったためか売上は減少。依然新型コロナウイルスの影響は大きく、観光地関連の需要も例年の夏休みとはかけ離れた状態。また、青果物関連は長雨と猛暑の影響が出てきている。

21. < 岐阜県 紙加工品 >

第2波の影響で、受注が減速した。今後の不安要素として、雇用調整助成金の特別枠の取り扱い終了が挙げられる。終了後の対策の検討が必要だが、受注が戻らなければ人員削減も考えなければならない。

22. < 静岡県 パルプ・紙・紙加工品製造業 >

新型コロナウイルス感染再拡大の懸念もあり各種催事の自粛や中止による需要減が続いている。リモートワークが増えたことにより情報用紙も需要が減り前年割れを余儀なくされた。

23. < 大阪府 古紙収集加工業 >

段ボールケースは6月からの豪雨被害、長雨による天候不順の影響で農作物が日照不足による生育不良となっており箱の出荷も鈍っている。但し、猛暑による飲料や白物家電は増加している。

24. < 愛媛県 機械すき和紙 >

コロナ禍により、業務用トイレ紙の需要は、引き続き低迷している。一方、タオル紙の需要は、感染拡大防止策としての手洗いの励行により、継続して好調である。

印刷

25. < 群馬県 印刷業 >

新型コロナウイルスの影響が業績に響き始めている。この状況が続くとすると、人員削減や新事業の立ち上げなど、根本的に事業を見直す必要性を感じる。

26. < 富山県 印刷業 >

コロナ禍で、売上、収益ともに悪化が続く。組合員企業1社は、自社内での事業承継が出来ず、M&Aにより近隣の同業者の完全子会社となり、事業継続を維持。

27. < 静岡県 印刷・同関連業 >

新型コロナウイルスの感染再拡大により大幅な売上減少が続いている。競争入札案件は更に価格競争が激化し、採算の合わない価格となっている。

28. < 愛知県 印刷 >

商業印刷を中心に4~5月最悪だった受注は6~7月に8割近く戻ったが、8月に入って再びダウンした。今後7割経済が続くと予想される中、7~8割の売上でできる経営を模索する動きが組合員企業に出始めている。

29. < 兵庫県 印刷 >

コロナ禍、業界内で廃業、縮小する事業所が出始めている。終息したとしても仕事量が戻らないじゃないかと不安の声も出だし従業員の給料カット、人数を減らすと言う声も出ている。

30. < 佐賀県 印刷・同関連業印刷 >

例年の秋イベントの中止により、ポスター、チラシ等の受注が減少している。観光業や飲食業の販促物は、徐々に戻りつつあるが、GoToキャンペーン、GoToイートなどでの消費に期待したい。

化学・ゴム

31. < 群馬県 ゴム製品製造業 >

新型コロナウイルスの影響と盆休みが重なり操業度が低下した。ただし、大手自動車メーカーへの納入は9月以降増加・回復の兆しが出てきた。

32. < 長野県 プラスチック製品製造業 >

依然として新型コロナウイルスの影響が大きいのが、9月以降自動車関連では若干受注回復の兆しがあるが、半導体関係では減少と、業界によって回復の兆しに差があるように感じられる。

33. < 愛知県 高圧ガス >

イベント、キャンペーン等の開催が自粛されており、売上、収益とも減少傾向が続く中、内需の不振がより厳しい経営に拍車をかけている。

34. < 大阪府 石鹼洗剤製造業 >

新型コロナウイルス対策関連商品で伸びているのは、手洗用液体石鹼で、浴用固形石鹼、合成洗剤の住宅・家具用、漂白剤等も伸びており、手洗いなどの意識で需要の高まりが浮き彫りとなっている。

35. < 奈良県 プラスチック >

コロナの影響による落ち込みに対して、どのように対応していくかが、当面の業界の課題である。輸送機械等の回復が待たれる。

36. < 広島県 プラスチック製品製造業 >
自動車関連の売上、設備操業度は回復基調ではあるが、業界全体ではまだまだ低迷している。各社資金繰りへの影響が懸念される。問題は、コロナ禍の終息時期が見通せないことである。

窯業・土石製品製造業

37. < 茨城県 焼物 >
秋に延期していた陶炎祭を含むイベントは軒並み中止となった。年内のイベント活動は大変厳しい状況となり、経済活動にも多大な影響がある。
38. < 千葉県 生コン製造 >
コロナ禍の影響による工事中止はほとんどなく、逆に工事を前倒しているケースがあり、出荷量は想定を上回った。
39. < 神奈川県 砕石 >
出荷が見込まれる物件は一定数を保っている中、工事進捗遅れが改善しつつあり、持ち直し傾向が出てきた。案件の動かない地域もあるが、当月は相対的にいくらか上向きとなった。
40. < 福井県 瓦工業 >
雇用調整助成金を活用し、雇用を繋ぎとめているが、生産分が消費に繋がらず在庫が増え続けている。取引条件は工期先延ばしや、予定していた量の半分の納品で中断される等の影響が続いている。
41. < 三重県 伊賀焼 >
イベント、催し物は中止になっているものが多いが売上については徐々にではあるが回復傾向にある。陶芸教室の申込については学校からの申込予約が特に増加している。
42. < 香川県 石材加工 >
電話が鳴ると墓じまいの依頼ばかりである。今年のお盆は新型コロナウイルスの影響もあり、お墓参りに行けなかった人も多く、それがきっかけとなり、墓じまいへの思考になったのかと考えてしまう。

鉄鋼・金属製造業

43. < 秋田県 鉄鋼 >
新規見積物件も少なく、各社とも稼働率が下がっている状況。例年であれば、年末にかけての工事売上が期待される場所だが、今年は先行きが全く予想できず、厳しい経営が続くことが懸念される。
44. < 岐阜県 メッキ >
新型コロナウイルスにより得意先の仕事量が減少しており、組合員の景況感も悪化している。自動車業界は一部持ち直してきたが、まだまだ厳しい状況にあり、土日以外も休業している組合員もある。
45. < 三重県 鍍金 >
当業界の生産高は7月同様新型コロナウイルス感染状況が一向に収まらず、自動車関連部品は伸び悩み、他の製品に関しても同様である。一方半導体関連は減少幅も少なくやや増加の状況である。
46. < 和歌山県 金属製品製造 >
アメリカ経済の減速による影響が大きいだが、自動車関連では部品の受注が増えてきている。全体的に、相変わらず厳しい経営状態が続いている。
47. < 長崎県 金属製品製造業 >
船用機械製品(舵取装置・過給機)の仕事量は、前年並みで推移している。火力発電所関係工事では、新設工事がなく、下期から仕事量に影響がでてくる。
48. < 熊本県 異業種 >
新型コロナウイルスの影響で、急速な取引悪化の様相を呈していたが、ここにきてやや持ち直しの傾向が見られる。とはいえ売上高減少、在庫数量増加の状況にあり、予断を許さない状況である。

一般機器製造業

49. < 埼玉県 一般機械機器製造業 >
新型コロナウイルスによる景気後退が懸念されており、本格的な生産活動の再開には相当期間を要する見込みである。少ロット、短納期での受注が増加しており、収益面への影響が懸念される。
50. < 富山県 金属工作機械製造業 >
売上は対前年同月比26.2%。工作機械を中心に軒並み3割相当低下。前月比+11%と最悪期は脱しつつある状況。
51. < 長野県 一般機械器具製造 >
新型コロナウイルスに起因する悪影響は引き続き大きい。計画休業の動きは全体的には変わらず。影響には時間差がある模様。輸送・土木は落ち込みが小さいが、人手が集まらない。
52. < 岐阜県 可児工業団地 >
トヨタ自動車の生産回復により関連企業の一部では設備操業が戻りつつあるが、全体的には回復はまだまだ先になるとの声が聞かれる。団地全体の使用電力量は前年同月比で22.9%の減少。
53. < 京都府 一般機械器具製造業 >

徐々に回復傾向に向かうであろうといった予測は裏目に出て受注量が下がってきた。新型コロナウイルス感染症の影響を受けていなかった組合員企業も3割程度ダウンといった声も聞こえる。

54. < 奈良県 機械 >
各機械関連（工作機械・農業用機械・食品機械等）の受注・引き合い状況も低調となり、20%前後の減少となっている。住宅・建築関連については、昨年並みの受注がある。

電気機器製造業

55. < 群馬県 民生用電気機械器具製造業 >
既存設備のメンテナンスの引合いが増えてきたが、新型コロナウイルスへの感染リスクを考慮し、場所を選んで最小限で受注を行っている。台風等の災害に備えて、家用発電機の需要が少しずつ増加傾向。
56. < 山梨県 電気機械器具製造業 >
半導体及び液晶製造装置、超音波装置製造関係など、今回のコロナ禍による国内需要の低迷や輸出の落ち込み、全世界の人の移動の制限による航空機の製造の落ち込みが原因となり受注量が減少している。
57. < 静岡県 電気機械器具製造業 >
外出自粛や猛暑の影響により冷蔵庫・家庭用空調機の販売は好調に推移した。生産実績は販売好調を受けて昨年比では同等若しくはそれ以上となった。
58. < 京都府 電機機械器具製造業 >
コロナ禍において従来の対面による受注活動が制限され非対面となっており、新規顧客、製品販路の開拓等、売上に繋がる活動ができない状況が継続し苦慮している。
59. < 兵庫県 電気機器製造業 >
自動車の販売が戻りつつあるが、メーカー側に在庫があるので、部品製造は現状では落ち込んだままである。今年一杯で8割くらいの戻りになると予測している。雇用の継続が難しくなっている。
60. < 広島県 電気機械器具 >
新型コロナウイルスの影響で国内外ともに受注が減少しており、前月比5%減少、前年同月比10%減少となった。輸出は前年比累計20%減少している。設備投資減少の影響は大きく、特に小型機種の不況感が強い。

輸送用機器製造業

61. < 岐阜県 輸送用機器 >
ボーイング社の新型機開発の遅れに加え、旅客の大幅な減少により、航空機需要が急激に低下。8月は30%超の減少となった。操業の見直しが発表されたが、更に受注の減少は進む見通し。
62. < 静岡県 輸送用機械器具製造業 >
四輪車部品は生産が前年並みに戻ってきたが、二輪車部品はまだ計画を下回っている状況であり、全体としてはほぼ前年度並みに戻った状況。ただし車種によって販売状況に差が出ている。
63. < 愛知県 輸送機器 >
生産量は前年水準まで回復。10月以降価格見直しの時期に入るが各社体力消耗しており、軽微な範囲でとどめてもらいたいところである。
64. < 三重県 輸送機器 >
9月以降の計画に回復の兆しが見受けられ、一部の自動車メーカーではほぼ通常生産に戻ってきている。しかしメーカーによっては未だ需要が戻っておらず、過剰在庫で年内の受注再開が見込めない部品もある。
65. < 山口県 鉄道車両・同部品製造業 >
新型コロナウイルスの影響で受注先の操業が落ち込み、受注見込みや生産計画に影響が出ている。半導体は高い作業量水準が継続している。
66. < 愛媛県 造船 >
外国人労働者の新規入国は相変わらず見通しが立たないものの、再入国については隔離場所等を含めて検討している。継続して消毒液の設置、マスクの配布等の感染対策を行っている。

その他の製造業

67. < 神奈川県 工業中心の複合業種 >
世界的に設備投資が進まずプラント・工作機械等の受注が大幅に減少し生産調整が長引いている。大規模展示会等が中止・延期される他、営業活動自粛による機会損失が発生している。
68. < 山梨県 貴金属・宝石製品製造業 >
イベント・展示会等が中止となったことや外国からのバイヤーが入国できないため、売上は減少している。通訳を入れてオンラインで商談したが、売上は上がらない。
69. < 愛知県 工業用模型 >
東京を中心とした関東圏では3月からのデパート閉鎖と、東京の人形販売の中心地「浅草橋」での屋形船コロナクラスターの影響で、五月人形の販売状況が例年の60~70%減と恐ろしいほどの落ち込みとなった。
70. < 奈良県 靴 >
昨年、組合員が共同で立ち上げたブランド靴を、東京の百貨店で披露する機会があり好評であった。売上に繋がるまでは期間がかかるため、引き続きSNSなどでPRしている。
71. < 高知県 装飾品・同関連品製造業 >

7月の製品会取引額は前年同月比71%と、3～6月と比べるとやや回復傾向となったが、8月は前年同月比41%となり、以前復調の見えない状況である。

72. < 福岡県 畳等生活雑貨品製造業 >

梅雨明けが遅くなり、仕事が8月に延びた。筑後ブロックでの水害被災での新畳受注で多忙な店もある。官公需においては北九州ブロック2,500畳受注あり。筑豊ブロック400畳程あり。

《非製造業》

卸売業

73. <福島県 再生資源 >
古紙はアジア向け輸出市況は上昇基調であるが、国内需要は低調で生産減、消費低下が続いている。鉄・スクラップはお盆明けから8月末にかけ輸出・国内共に市況は上昇基調である。
74. <滋賀県 食料品市場 >
野菜は7月の豪雨や曇雨天から低温日照不足等の天候不良の影響で入荷量は前年比86%、単価は前年比138%と高値になった。果実の入荷量は前年比84%、単価は前年比132%となった。
75. <徳島県 各種商品卸 >
家電関連は、新型コロナウイルスの影響によるステイホームと猛暑のおかげで売上高を維持することができている。
76. <大分県 食糧集荷 >
オリンピックがなくなり在庫の滞留が深刻化している。関東地区の米の消費が悪く安くても売れない状況である。在庫を消化するためにやむを得ず安い価格で販売するため、価格下落の悪循環に陥っている。
77. <宮崎県 卸商業 >
台風により生産者の出荷体制の減退が気になる。引き続き婚礼は開催されず、ウェディング協議会として、結婚式が開催されない新郎新婦へのサポートを具体的に行っていく必要がある。
78. <沖縄県 青果卸売業 >
引き続きホテル関係や飲食店等業務向け需要は低迷していたが、旧盆と併せて量販店からの引き合いが前年を上回り、全体としては前年並みとなった。

小売業

79. <北海道 各種商品 >
GoToトラベルにより観光客は増加したが、新型コロナウイルスを敬遠してお盆の集まりを避ける傾向があるのか、地元客による大量購入がない。
80. <青森県 自動車小売業 >
自転車の8月販売台数は前年同月で若干減っているように見えるが、スポーツモデルが好調で一般モデル（ママチャリ）が低迷している。台数的には減少だが売上額がアップしている。
81. <山梨県 飲食料品小売業 >
スーパーへの野菜や果物の納品が増えてきている。また、少しづつホテル・旅館への納品も増えてきている。
82. <岐阜県 水産物 >
新型コロナウイルスの感染拡大第2波の影響により景況感は悪化している。GoToトラベルキャンペーンも実施されているが、他県からのお客さんは少ない。
83. <島根県 自動車小売業 >
島根県における8月の登録乗用車の減少幅が4月以降最も少なく、全国的には販売店の客足や受注は戻りつつあり、今後ゆるやかに回復していくものではないかと思われる。
84. <岡山県 家具 >
新型コロナウイルスの影響で伝統工芸展の売上減少が響いている。一般家具は、1人一律10万円の給付金効果もあり順調に推移しているが、中止したイベントの数字をカバー出来るまでには至っていない。

商店街

85. <岩手県 商店街 >
消費はコロナ慣れにより若干回復しているようであるが、店頭の感触は例年の5割から6割程度の売上に感じる。
86. <群馬県 商店街 >
コロナ禍のみならず残暑の厳しさもあり、客足は伸びない。プレミアム付きの地域商品券が発行されたが、使用店舗が限定されているため、敬遠されている様子が見受けられる。
87. <愛知県 商店街 >
飲食を中心に客足が激減、商店街は非常に厳しい状況が続いている中、トヨタ自動車が急速に業務回復が進んでいるのが救い。8月25日スタートのプレミアム商品券で、この苦境を乗り切りたい。
88. <大分県 商店街 >
売上は徐々に回復傾向にあり、前年並みまで回復していたが、大分市内で新型コロナウイルス感染者が再び出たことで客足がまた悪くなった。予定されていたイベントも中止や延期が相次いでいる。
89. <鹿児島県 商店街 >
市内の高級レストランが家族葬祭場になり、結婚式場も近く閉店する見込み。中心部の若者向けのレストランが閉店するなど新型コロナウイルスの感染が長引けば更に増えていくだろう。

90. < 沖 縄 県 商店街 >
「GoToキャンペーン」に期待もあったが、県内の新型コロナウイルス感染拡大を受け集客に苦戦した。各店舗に感染防止ガイドラインの遵守を呼び掛け、安全対策の徹底を図っている。

サービス業

91. < 福 島 県 温泉旅館 >
新型コロナウイルスの影響により集客の約8割を占める東京および関東4県のキャンセルが相次いで発生。なお、GoTo トラベルについては好調で、新規予約は90%以上がGoToトラベル利用である。
92. < 群 馬 県 旅館、ホテル >
夏休み・お盆休みとはいえ旅行を控えており、前年の6~7割程度の入込に留まる。GoToトラベルの効果は全く感じられず。また次から次へと内容に変更があるため、受け入れる旅館側も困惑している状態。
93. < 石 川 県 旅館、ホテル >
客室稼働率、売上比は昨年比80%減。県民割の宿泊プランは一部施設のみ稼働し、GoToトラベルは新たな予約はほぼ無し。キャンセルのみ発生。秋以降の予約が非常に悪い。
94. < 鳥 取 県 観光業 >
鳥取砂丘、砂の美術館への入込数は前月より増加したものの、盆の期間中の入込数は新型コロナウイルスの影響で、前年の50%位まで大幅に落ち込んだ。
95. < 高 知 県 旅行業 >
組合クーポン前年同月対比18%、全旅クーポン合算で19%。GoToトラベル事業も開始されたが、事業の概要、周知自体が混乱を極めており、事業利用を断念する組合員もいる。
96. < 沖 縄 県 ホテル旅館業 >
8月の那覇市内は「那覇とま〜るクーポン事業」に助けられた。昨年同時期の稼働率平均84%が本年平均21%であるので、域内キャンペーンがなければ生き残れない数字になるところであった。

建設業

97. < 秋 田 県 電気工事 >
助成金等の活用で冷蔵庫・エアコン等の売上額が伸び、それに伴う家庭用電力の容量変更工事の受注が増加した。さらに公共工事の発注も出てきている。
98. < 神 奈 川 県 空調設備工事 >
未だにコロナ禍の影響で現場が一時止まりで遅れている現場がある。三密回避するための作業工程の調整で工事の遅れも発生。一部では、今までどおりの現場もあるが、今後どうなるかがわからない。
99. < 大 阪 府 一般建設業 >
新型コロナウイルス関連により建設業の中でも景況は斑模様で、契約済みの工事がある業種（水道・塗装等）はコロナの影響で着手予定工事の延期が見られるが、「街屋」は総じて忙しいようである。
100. < 兵 庫 県 管工事業 >
水の使用量が増える夏場は、トラブルも多く新型コロナウイルスの影響も関係なく修繕センターの電話受付が過去最高となる1810件もの問い合わせがあった。修繕登録業者は多くの修繕をこなした。
101. < 和 歌 山 県 電気工事業 >
8月は売上高は前月と比べ同水準(低い)です。ただ、猛暑の影響によりクーラーの取付工事は忙しいようです。
102. < 福 岡 県 板金工事業 >
新型コロナに合わせて水害被害、後継者不足により廃業する組合員があった。操業状況においては、福岡市および周辺、北九州地区は比較的堅調だが、筑後、筑豊等南部エリアでは厳しい声も聞こえる。

運輸業

103. < 秋 田 県 トラック >
お盆前に多少回復の兆しがあったが、お盆明けには貨物量が減少し、売上、収益ともに減少傾向、前年同月比で減少となっている。春先に比べて順調に推移しているが、燃料価格が値上げ見込みとなっている。
104. < 栃 木 県 一般貨物自動車運送業 >
新型コロナウイルスの影響が大きく出てきている。加えて長雨で荷量・便数が減少したことにより、土地代や支払いが負担になってきている。このままでは、給料の減額も視野に入れなくてはならなくなる。
105. < 石 川 県 一般貨物自動車運送業 >
輸送需要は対前年比97.1%で減少している。特に新型コロナウイルスの影響で生活関連品目以外の輸送需は減少している。燃料価格は値下がり傾向にあったが5月以降上昇に転じて輸送原価に響いている。
106. < 静 岡 県 道路旅客運送業 >
例年、お盆前は荷動きが活発になるが、今年はお盆の前後とも閑散とした状況であった。そのため、倉庫内には大量の商品が保管されている状況。8月は多少ではあるものの、減少率が改善されてきている。
107. < 兵 庫 県 道路貨物運送業 >
組合員は長距離運行する機会が多いが、帰り荷の確保が非常に困難な状況になっているので赤字運行を余儀なくされている。帰り荷がなければ採算が取れない運賃しかもらっていないのが業界の現状である。

108. <宮崎県 貨物運送業 >

引き続き需要が停滞気味で、長距離運送による関東・関西方面からの荷物が薄い傾向が続いており、一運行にかかる時間管理に影響を及ぼしている。燃料価格は徐々に値上げに転じて行くと思われる。

その他の非製造業

109. <宮城県 不動産 >

仙台市内中心部や仙台地下鉄沿線の土地価格は、高止まり感がある。賃貸市場は、新婚向けの1LDK~2LDKの問い合わせが活発であり、8月後半は秋の転勤により単身向けの賃貸マンションの契約が好調だった。

110. <神奈川県 歯科技工 >

前年度と比べると売上は変わらないが、歯科用貴金属が高値を更新し、収益状況に影響を与えている。歯科材料の保険手数料が上がらなければ、受注も増えず、収益状況の改善はない。

111. <兵庫県 ディ스플레이業 >

新型コロナウイルスの影響で、依然として厳しい状況にある。ただ年末に向けての商談件数が増えているが、不確定要素を含んだ商談と成る為この先の対応に苦慮している。

112. <岡山県 信用組合 >

資金繰り相談等を受ける機会が増加しており、県の制度融資である無利息融資の提案を中心に行っている。また、各種補助金の提案や説明も行うなど、組合員・員外問わず総合的に支援活動を行っている。

113. <広島県 不動産業 >

不動産市場については、コロナ禍の影響による先行き不透明感はあるものの、低金利政策等により需要は堅調に推移している。

114. <鹿児島県 造園工事業 >

お盆前は公共工事（道路草刈り等）に加え、墓地整備等で忙しく、お盆明けは夏休み期間中の学校の草刈り、剪定業務に追われた月となった。今夏の猛暑は人手不足も相俟って、従事者の健康面が心配された。